ここにおわり、
ここにはじまる—
この4コマに
いっぱい出てくる人
—超ヒロイン—
アリサ・ラインフォルト
—アシスタント—
ナーディア・レイン
そのほかの人たち
ス…
STORY
帝国全土を包んだ災厄「巨イナル黄昏」。
英雄たちによって危機を乗り越えたゼムリアの地で、
新たな因果が紡ぎ出され、そして、物語は"終点"へと向けて動き出していく。
舞台は災厄「巨イナル黄昏」後のゼムリア大陸。
大陸各地で活躍する三人の主人公を軸に、数奇な運命が複雑に絡み合っていく。
ある者は"英雄"として、
ある者は"解放者"として、
ある者は"隠者"として——
—隠者—
(C)
—解放者—
ロイド・バニングス
—英雄—
制作 株式会社KADOKAWA Game Linkage
制作協力 株式会社フィールドワイ
デザイン 株式会社グラフィオ
監修 日本ファルコム株式会社

超ヒロイン再々(略)臨よ!

新アシスタントね!

捏造の中の真実よ！

2年で学んだことよ！

対決のローゼンベルク人形よ！

時間の問題ね！

謎の仮面よ!

突然のクロスよ!

VRモードよ！

2人の隠しごとよ！

V・アタックよ！

控えめな娘よ！

ノエルとワジ

ノエルさんは以前支援課に参加していたクロスベル警備隊員！
ワジさんはケヴィンと同じ星杯騎士団の守護騎士よ！
それにしても何であたしとワジ君がセットで紹介されるのかしら
フフ……カップルにでも見えるのかもね
う〜んカップルというよりボケとツッコミ？
あるいはイジる側とイジられ側かも…
はぁ!?
ちょっと待って！さっきから聞いてれば言いたい放題じゃないかな
だーれがイジりイジられる関係ですかッ
大体あたしのはイジりではなくて警察官としての教育的指導であり——
要するにあなたはイジられる側の人です

3と9よ！

あーちゃんその本ひょっとして……
「3と9」っていう小説よいまゼムリア大陸中でベストセラーの小説なのよ！
作者が不明で実話を基にしてるってウワサもある作品なの
実際この「スリー」って男の子のヘタレぶりが妙にリアルで本気でひっぱたきたくなるわ！
わぶっ!?
べしっ
ホント演技下手ねコイツ……

3と9よ!

あーちゃん その本 ひょっとして……
「3と9」っていう小説よ いまゼムリア大陸中で ベストセラーの小説なのよ!
作者が不明で 実話を基にしてるって ウワサもある作品なの
実際この「スリー」って 男の子のヘタレぶりが 妙にリアルで本気で ひっぱたきたくなるわ!
わぷっ!?
べしっ
ホント演技 下手ねコイツ……

ノエルとワジ

ノエルさんは以前 支援課に参加していた クロスベル警備隊員!
ワジさんはガイウスと同じ 星杯騎士団の守護騎士よ!
それにしても何であたしと ワジ君がセットで 紹介されるのかしら
フフ…… カップルにでも 見えるのかもね
うーんカップルと いうよりボケと ツッコミ?
あるいはイジり役と イジられ役かも!
はあ!?
ちょっと待って! さっきから聞いてれば 言いたい放題じゃないかな
だーれが イジりイジられる 関係ですかッ
大体 あたしのはイジりでは なくて先輩としての 教育的指導であり……
確定あなたは イジられる 側の人です
フフフ

ユウナ・黒フォードよ！
リィンの教え子でクロスベル出身のユウナ・クロフォードよ！
どうも、あたしの残念な先輩がまたしてもご迷惑おかけしてます
一時的に特務支援課に協力してたけどまた《Ⅶ組》に戻ってきたのよね
今はⅦ組もあたしの大切な居場所ですからね
このようにリィンとともに戦った仲間たちも今回自分が歩む道を探していくことになるわ
そういう意味で僕ら一人一人にとっても「創の軌跡」と言えるわね
いや私だってたまにはいい言葉のひとつくらい言うわッ
別に変なもの拾って食べたりしてないわッ!!
人形の嫌いなものよ！
人形なのに色々食べるのね
私は誇り高きローゼンベルク人形 当然 食事ぐらいするわ
好き嫌いとかあるのかしら？
ローゼンベルク人形は完璧なの、当然 何でも食べるわよ？
ドーン
何でも……と言ったな？
食べ物の好き嫌いはないけどアンタは大嫌いだわ

とんだ濡れ衣だわ！

アルティナの進む先よ！

不良少年の進路よ！

カイエン公の青春よ！

突然の迷惑行為よ！

夢のパーティよ！

封印石

こっちの方が重症だわ！

《C》との出会いよ！

若者に物申すわ！

それがお仕事よ！

犯人はこいつらよ !!

捜査官は正直者よ！

さらば超ヒロインよ!!

あとがき

こんにちは、新久保だいすけです。
この度は電撃屋をご利用いただきありがとうございます！

今回は新シリーズということで誰を新しい主人公に……
と思っていたらまさかのアリサちゃん続投です。

発売前の作品の４コマは限られた資料のなかで描かざるを得ないことが多く、
実際のキャラとイメージが違う……などということがたまにあります。
アリサちゃんもそんな状況のなかで生まれたキャラで、
気の強いお嬢様系かなぁと思っていたら、
実際には歳相応の悩みを持つ等身大な女の子で

結構冷や汗をかいたものでした（笑）。
その流れで今回一番気になってるのは、やはり《C》でしょう。
このあとがきを書いている時点ではまだ僕もその正体を知りません。
当然正体を明かす話もあるでしょうし、
隠すからには知っているキャラだろうという推測はしているのですが
「ひょえーマジすっげー」
とか言っても違和感ないキャラでありますようにと、
心の底から祈りつつ発売日を迎えようと思います……！

最後に日本ファルコムの皆様、編集部の皆様、
そして着彩を担当してくださいましたギロ先生、
本当にありがとうございました！

新久保
だいすけ